

Event-Based Education活動報告書

報告書記入者名	國分 洋	所属・役職	アンチ・ドーピング部会 副部長	
競技種目	スピードスケート			
競技会名	2024/25 全日本ノービスカップショートトラックスピードスケート競技会第2戦			
活動日時	2025年3月22日 9時30分～16時00分、3月22日 9時30分～14時00分			
活動場所	神戸市立ポートアイランドスポーツセンター			
ブース活動者	氏名		所属・役職	
	國分 洋		(公財)日本スケート連盟医事委員会アンチ・ドーピング部会副部長	
	山口 修		(公財)日本スケート連盟医事委員会アンチ・ドーピング部会委員	
	渡邊 啓太		シンボルアスリート	

参加人数

主な参加者 例) 大会参加アスリート、観客 等			大会参加アスリート、サポートスタッフ、保護者、観客					
	アスリート		サポートスタッフ (指導者・NF・チームスタッフ)		その他 (観客・ボランティア等)		日別合計	
1日目	41	人	5	人	9	人	55	人
2日目	29	人	1	人	7	人	37	人
3日目		人		人		人		人
							総計	92 人

※JADAのクイズテンプレートを使用した場合、スタート編・ステップアップ編の合算数を記載ください。

概要報告

＜実施内容＞ 活動内容、タイムスケジュール、配布物 等		
神戸市立ポートアイランドスポーツセンターエントランスにブースを設置 ノービス選手にクリーンスポーツクイズ スタート編を実施 コーチや保護者にクリーンスポーツクイズ ステップアップ編を実施		
＜会場の雰囲気、ブース設置場所の適正＞		
兵庫県スケート連盟の協力により、ブースを会場入り口に設置することが出来たことで多くの選手に声をかけることができた。 何度もクイズに挑戦したいと希望する選手やコーチの方々が選手をブースへ誘導してくれたりと全体的に意欲的に参加していただけている雰囲気であった。		
＜良かった点・課題＞		
シンボルアスリートとして渡邊啓太選手が協力してくれたことにより、クイズに挑戦するだけでなくスケート技術について相談している選手も多かった。 昨年度もクイズをやったと覚えている選手もいて、アウトリーチ活動の印象付けをできていると感じた。毎年クイズを変更できると選手がより楽しみながら教育できると考える。 ノベルティグッズ等があると参加した記念として印象が残しやすいと感じた。		
＜現場で受けた質問・回答＞		
①	質問	現在花粉症の薬を使っているが大丈夫か。
	回答	内容を確認し回答、薬が変更になった場合等に対応していただけるようGlobalDROを紹介した。
②	質問	
	回答	
③	質問	
	回答	
＜その他＞		
■クリーンスポーツ啓発ページの配布があれば、(印刷)部数についてもご報告ください：		

報告書提出方法: 本シートを更新の上、上記写真3枚程度と一緒に
JADA事務局: JADA-Education@playtruejapan.org までお送りください。
注) アウトリーチプログラム終了後、5日以内にご提出をお願いします。

写真①



写真②



写真③

